

男狭穂塚女狭穂塚陵墓参考地外構柵復旧工事に伴う立会調査

はじめに

男狭穂塚女狭穂塚陵墓参考地（以下、「当参考地」という）は、宮崎県西都市大字三宅字丸山に所在する（第1図）。本報告は、平成30年に発生した台風24号により倒壊した外構柵被害の復旧工事にともなう立会調査にかんするものである。標記の立会調査は、令和元年度に実施した外構柵基礎の建て起こしの際に、施工地における遺構・遺物の有無を確認することを目的として、陵墓課職員が令和元年9月2日から6日までおこなった⁽¹⁾。なお、上記以外の工事期間中は、桃山陵墓監区事務所職員が随時立ち会った。陵墓関係学協会への調査地公開は、令和元年9月5日におこなった。

調査の状況

工事に伴う立会は、外構柵基礎の建て起こしを要しない第2図①から②までの箇所を除いて③から⑤までおこなったが、外構柵取設工事で使用した土嚢が詰められていることを確認したのみであった（第2図）。遺構・遺物は検出されなかった。

また、当参考地域内の倒木箇所を確認していたところ、女狭穂塚陵墓参考地の東造出において、平坦面を上に向けた石3個と円筒埴輪片と思しき小片を地表面で確認したが、倒木処理上掘削作業はなく、詳細な位置の記録も難しいことから、埴輪片は採取しなかった。

まとめ

今回の立会調査は、特別史跡西都原古墳群の範囲であることをふまえ、遺構・遺物の出土に注意した。しかし、調査の結果、遺構・遺物ともに検出されなかったため、整備工事は予定どおり施工した（第3図）。

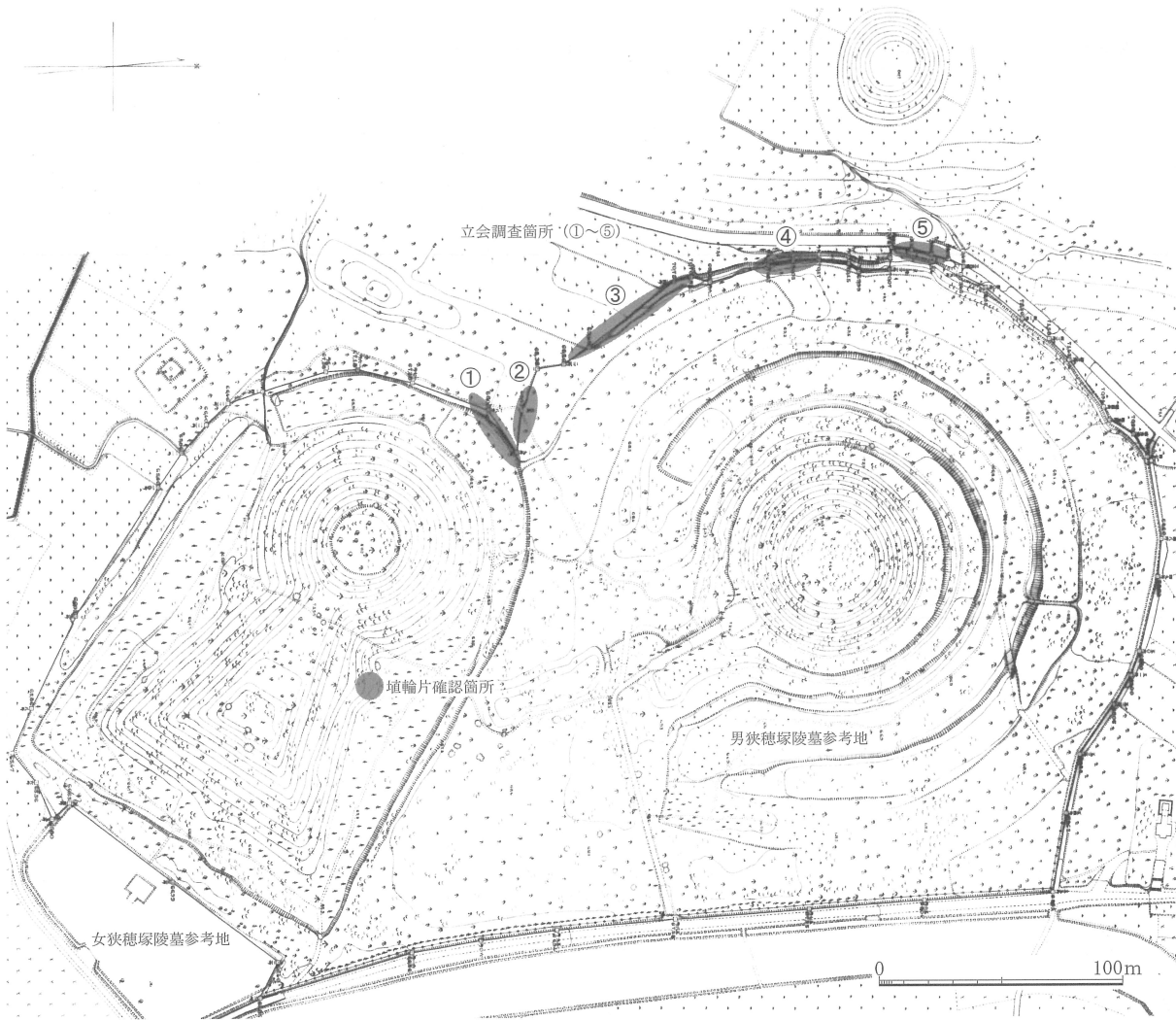
（横田真吾）

註

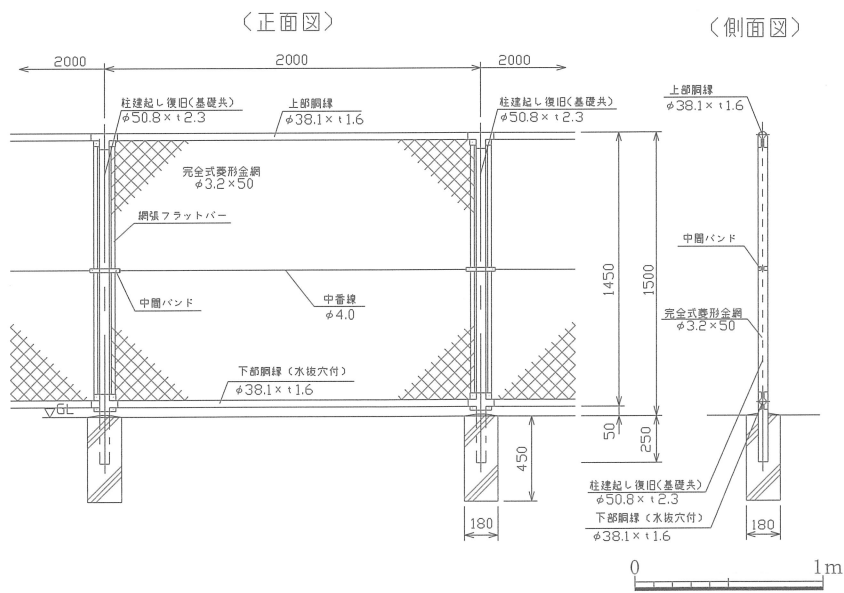
(1) 立会調査の実施にあたっては、宮崎県教育庁の甲斐貴充氏、宮崎県立西都原考古博物館の松林豊樹氏、元陵墓課職員の福尾正彦氏よりご助言を頂いた。記して感謝申し上げる。



第1図 男狭穂塚女狭穂塚陵墓参考地 位置図 (1/50,000)



第2図 男狭穂塚女狭穂塚陵墓参考地 調査位置図 (1/3,000)



第3図 男狭穂塚女狭穂塚陵墓参考地 外構柵模式図 (1/40)